

WCRR2019の実施に際して、JRグループ旅客6社、貨物の各社からは企画段階からさまざまなご意見を頂戴し、それらを反映した運営となりました。そして7社+鉄道総研でブース出展に至りました。また各社からは70本以上の論文投稿と40本以上の論文発表、3人の座長、200人以上の参加者登録、JR東日本殿および関係会社多数からのスポンサー支援をいただいております。

また、国立研究所のお隣にあるJRシステム殿からもスポンサー支援とテクニカルビジット公開にご協力いただきました。さらに、ウェルカムレセプションは大手民鉄各社殿+大阪メトロ殿からの提供となり、東京メトロ殿からはランチとブースの出展スポンサーと、日本の鉄道業界全体で世界からのお客様をお迎えする形ができました。

他方、多数の鉄道総研役員・職員が論文の投稿・査読・発表・座長・副座長・記録・聴講、会場での誘導・案内・受付補助、スポンサー勧誘、JRブース設営・案内、ソーシャルイベントでの誘導・案内、テクニカルビジットの準備・同行・案内、そしてWCRR2019実施本部での企画・準備とさまざまな形で長期にわたって関与しました。

この場をお借りして、あらためて皆様のご協力に深く感謝いたします。

来月号の特集は「鉄道の発展に向けた基盤技術」です。鉄道の発展に向けた鉄道固有現象の解明および諸問題の解決のために取り組んでいるさまざまな研究開発において構築した基盤技術について紹介します。どうぞご期待ください。(T. U.)